



## 特別会計

(単位:万円)

会計名	●歳入決算額	●歳出決算額
国民健康保険事業	81億8,687	80億1,989
介護保険事業	49億2,717	48億7,449
後期高齢者医療事業	14億3,275	14億1,266
モーターボート競走事業	1,257億 285	1,246億3,764
土地区画整理事業	21億 565	18億9,837
公共用地対策事業	1億1,146	5,639
下水道事業	23億 766	21億9,346
三谷町財産区	4,343	2,489
西浦町財産区	1,353	988
合計	1,448億3,137	1,431億2,767



## 企業会計

(単位:万円)

会計名	水道事業		病院事業	
	●収入決算額	●支出決算額	●収入決算額	●支出決算額
収益的	17億8,100	16億6,917	72億8,320	77億1,475
資本的	1億9,176	6億3,476	3億9,498	6億5,936

モーターボート競走事業特別会計は、病院事業会計に13億円、下水道事業特別会計に6億2,000万円、土地区画整理事業特別会計に8,000万円、合計20億円を繰り出しました。

### 健全化判断比率・資金不足比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、平成23年度決算における健全化判断比率と資金不足比率をお知らせします。

#### 健全化判断比率

(単位:%)

区分	蒲郡市	国基準	
		早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	-	12.67	20.00
連結実質赤字比率	-	17.67	30.00
実質公債費比率	1.2	25.0	35.00
将来負担比率	-	350.0	

※実質赤字額または連結実質赤字額がない場合および実質公債費比率または将来負担比率が算定されない場合は、「-」と記載しています。

#### (解 説)

平成23年度決算における算定の結果、財政の健全度を表す健全化判断比率の4指標はすべて「早期健全化基準(黄信号)」と「財政再生基準(赤信号)」を下回っており、市の財政は健全性を確保できています。また公営企業会計でも資金不足は発生していません。

#### ■健全化判断比率

次の4つの指標で、財政状況を判断します。

##### ①実質赤字比率

一般会計などにおける赤字の程度を示す指標で、数値が大きいほど赤字の額が多くなり、厳しい収支状況にあると言えます。

##### ②連結実質赤字比率

①と同様の指標で、全会計の赤字や黒字を合算し、市全体としての収支状況を示すものです。

##### ③実質公債費比率

借入金の返済額などの大きさを示す指標で、数値が大きいほど返済以外に使えるお金が少ない状況にあると言えます。

##### ④将来負担比率

一般会計などの借入金や、将来負担すべき実質的な負債の程度を示す指標で、数値が大きいほど将来的に財政が圧迫される可能性が高いと言えます。

#### ■資金不足比率

公営企業会計ごとの資金不足額を示す指標で、数値が大きいほど経営状況が厳しいと言えます。

#### 資金不足比率

(単位:%)

公営企業会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
水道事業会計	-	20.0
病院事業会計	-	20.0
下水道事業特別会計	-	20.0

※資金不足比率がない場合または資金不足比率が算定されない場合は、「-」と記載しています。

